おひさま

北区立王子小学校 校長 原田英孝
巡回拠点通信
令和8年11月27日　12･1月号
巡回拠点おうじ 巡回指導教員
03-5902-3368(直通電話)

2026年もあと1ヶ月です。特別支援教室で、担当教員や同じ小集団活動をする児童たちと関わりながら、自己を理解して成長していくことができました。本年も巡回拠点おうじの教育活動にご協力いただき、ありがとうございます。来年もよろしくお願いいたします。

●今後の予定●
・指導開始…1月8日(金)
・個人面談　王子小…3月16日(火)～3月19日(金)
　都の北…2月15日(月)～3月4日(木)
　東十条…2月15日(月)～3月9日(火)



今月号では実行機能についてご紹介します。

実行機能とは･･･

「目標に向かっていくための力」つまり「解決したいことに対して満足いくような結果を得るための力」

【事例】
総合の時間に「仕事について」家族にインタビューをしてまとめる宿題が出て、提出は来週の月曜日です。
・何をインタビューすればよいのかが分かっている。
・どのような形式でまとめるのかが分かっている。
・忘れずに家族に話す。
・いつインタビューするかを決めて書きとる。
・間違いを見直す。
・忘れずに月曜日に出す。
これらの実行機能の要素が必要。

NG
「考えて行動しなさい！」

OK
考えて行動するための手がかりを整える。

実行機能10のアイテム
①プランニング(計画を立てる)
②優先順位
③時間管理
④空間や情報の管理
⑤SOSを出す
⑥忘れない工夫
⑦モニタリング(行動の確認)
⑧シフティング(柔軟性)
⑨開始と持続
⑩コントロール

サポート一覧
①見通しをもたせる
ゴール、手順、「何を」「どこまで」「どの順番で」見て確認する形にする。
②必要な情報・条件を整理する
使うものをそろえる。時間を見える化する。優先順位を一緒に考える。
③はじめの一歩を決める
まず名前を書く。まず1問だけ。3分だけ。
④できたときの方法を使う
前はどうしたか。手順やヒントカード。毎回ゼロから考えさせない。
⑤行動前・途中・後に確認する
チェックリストやメモなどを確かめる。(セルフモニタリング)
⑥メタ認知的支援を行う
一緒に振り返る。「どこで困った？」「次はどうする？」「何を見れば分かる？」

実行機能を育むために、本人自身が必要感を意識することはもちろんですが、適切な環境でよい経験を重ねることが大切だと思います。つまり、成功体験を与えることです。

うまくいったときに「宿題できたね。」だけではなく、「宿題をメモしてこれたから、忘れずにできたね。」と、成功したことに価値付けをしながら、次につなげていけるようなほめ方が大切です。それが次の成功体験の手がかりになります。また、SOSが出せたときに子供の気持ちを受け止め、一緒に取り組み方を考えることが、のちに実行機能を発揮していくことになります。



特別支援教室では、自己理解を促し、自分に合った取り組み方を考える指導もしています。ご家庭でもお子さんに話を聞いてみてください。

出典:「体験しながら育もう実行機能力ステップアップワークシート」LD発達相談センターかながわ
神奈川LD協会　群馬大学共同教育部　霜田浩信先生　セミナー講話より